

山行番 NO. 1741
日時 2017.06.10(土)～11(日)
山域 姫川源流・白馬大雪渓・青鬼集落
コース 長泉・新Kサトウ発5:00—御坂峠—宮御坂 IC—安曇野 IC—姫川源流・親海湿原9:04—猿倉10:28—白馬大雪渓11:28—猿倉(昼食)—青鬼集落12:35—雨飾山荘—雨飾山登山口15:30(泊)
参加者 後藤、室伏、合谷、峰田、加藤、長谷、星、田内(ゲスト)

出発 AM5時出発、新Kサトウ・三島駅・納米里(7)・裾野市役所を經由し6名(G車)乗車する。
(KさんHさんはK車にて出発安曇野道の駅で合流予定)
御殿場を經由し御坂峠—中央道—長野道—白馬雪渓猿倉に向かう。

姫川源流・親海湿原散策

途中、佐野坂峠の姫川源流・親海(およみ)湿原を約1時間散策する。湿原にはカキツバタ咲き競い、木道から離れたところのレンゲつつじの赤紫の花が目をつけた。
姫川源流は国道際に水が湧き出て水質もよいことで日本名水百選にも選ばれている。(柿田川湧水と比較すると・・・)湧水近くには梅花藻が水面に白い花を咲かせていた。
このころはまだ雨は降っても少し、降らない時間のほうが長かったが?



杜若(カキツバタ)



姫川源流碑



親海湿原



黄色杜若

青鬼集落（あおに）散策

午後13時ころ集落に着き、集落駐車場も小雨、標高が下がった分か、雨脚は弱まる？

残念なことに、今日の雨模様で本物の白馬も、棚田に映る白馬も、視界悪く見ることはできない、集落の茅葺家屋の屋根がトタンで覆われ茅が何も見えないのが残念。

お善鬼の家（無人）が解放されていて内部も見ることができたが、私が知っている（子供のころに住んでいた）茅葺家屋より屋根が、寒さの違いか厚いように思われる。



青鬼集落



ALPSは見えない・・・



雪どけサイダー

白馬大雪渓

次に向かったのは、雪渓入口の猿倉、猿倉の山小屋葉営業していない。

到着時はまだ小雨、支度し1時間強の道、雪渓を目指す、予定では山野草の種類が多く、花を觀賞する山行になる予定が雨で視界も悪く、周りを見る余裕もなく雪渓に。

少し行くと林道の際に1m程の高さの雪が残り、下の河にはスノーブリッジならぬスノートンネルを、このような景観は初めての事、1時間ほど登ったところで、先行車のKさんHさんに会う、雪渓で待っていたが、寒くて下山してきたとのこと、このまま下り、猿倉で待つことに。

この頃は雨脚も強くなり少し気がめげるが、10分程で雪渓下部に到着す。

上を目指す気温も低く雨脚強く、引き返すことに(当初の計画通り)、雪渓の中記念写真を撮り、猿倉を目指し下る。途中ザゼン草を見つける。

猿倉の営業していない山小屋に8人そろう、屋根の下、休憩所で昼食をとる。

昼食後、8人車2台で青鬼集落に。



猿倉山荘



山荷葉 (サンカヨウ)



二輪草



衣笠草



今年は残雪が凄い



天気が・・・白馬岳見えず

宿泊場所

日程を終了し、宿泊地に、途中テン場の候補を2か所チェックし、雨傘山荘に到着。

宿泊者4名を降車、テン泊者4名と雨飾山登山口周辺を目指す。

登山口に到着、雨脚強くなり屋外のテン泊は避けたい心境に。雨飾山キャンプ場の建屋見え、キャンプ場の施設に泊まらせてもらえないか、交渉に出かける。キャンプ場職員一人清掃作業中、今日は開業準備に来ていたとのこと宿泊は許可できないとの返事、

ここからがKさんの独壇場、交渉成立、施設の一部屋根の下にテント張ることを黙認してもらうことに、フラットな床にテント張る、寒さ、雨を避けることができ快適な空間が、時間は早かったがKさんが、夕食の準備、他の3名は食すだけ、美味しくいただきました。

19時頃から就寝、明日に備えます。



雨飾高原キャンプ場管理棟